

「あすなろ」便り

No.104

2016. 3

発行：あすなろ
TEL:046-254-2005



*「あすなろ」ってなに？

翌檜(アスナロ)という漢字から、いつかは檜(ヒノキ)のようになりたいという夢を感じさせますね。しかし、植物図鑑で調べてみると、翌檜という木は日本の本州から九州の山地に生えており、これが檜になることはありません。檜と一見すると似ていることからこんな俗説が生まれたのでしょうか。植物学としての翌檜より俗説の明日は檜になろうと努力するほうに味方したくなります。

あすなろという言葉が創始者が好んでいたようです。また、翌檜の俗説への思いもあったのでしょうか。現在のあすなろスタッフもその思いを継承しつつ、不登校やひきこもりで辛い思いをしている青少年達に寄り添っていきたくと願っております。

* 不登校相談会

2月6日(土)、県藤沢合同庁舎で行われた「教育委員会とフリースクール等による不登校相談会」に参加してきました。「あすなろ」をはじめとする9つのフリースクール等関係団体と教育委員会が個別相談窓口を設け、相談を受けました。

個別相談会が始まる前には、「不登校を経験して感じること、考えること」をテーマに子どもと親による座談会が行われました。不登校経験者の子どもや親御さんから、当時のことを振り返り、「いらだちと恐怖」「いらだちからどう逃げるか」という子どもの思い、そして子どもへの接し方、乗り越えたきっかけ等のお話を聞きました。

個別相談では、座間市の方だけでなく、ほかの市町村の方からもご相談をいただき、「家庭だけでなく、ほかに居場所がないか、探しています」というお話でした。お子さんはもちろんですが、是非、親御さんだけでもつながることができたらと思っています。

* あすなろ うどん打ち会

2月18日(木)の食事づくりで、「うどん打ち」を行いました。

例年、あすなろでは、適応指導教室「つばさ」さんたちと「うどん打ち大会」を行っています。今年は、知り合いの方から地粉をいただいたので、2・3月の食事づくりは「うどん打ち」を行うことにしました。

参加者は、中学生2名と大人7名。当番の2名を含め全員が、うどん打ちのやり方を最初から最後までわかる人がいないという、不安な状況から始まりました。レシピを見ながら、「こうだったかしら？」とそれぞれの記憶を頼りに、「まぜる」「ふむ」「のぼす」「きる」の工程を行いました。みんなで悪戦苦闘している間に、野菜たっぷりのけんちん汁ができ上がり(スタッフが作ってくれていました)、打ち立て、ゆでたのうどんをみんなで食べました。太さ、長さがいろいろあり、なかなかユニークでしたが、味は最高！！うどんだけで食べても、とてもおいしく、次々と箸が伸びました。

うどんを打ってみたい方、打ち立てのうどんを食べたい方はお越しください。みんなでワイワイ言いながらやってみませんか？

〔絵手紙教室〕

2月25日(木)のあすなろは久しぶりに賑やかな1日となりました。女子中学生があすなろに来て絵手紙教室に参加してくれました。用意したモチーフに限定しないで、スマホから描きたいモチーフを取り入れて自由に描いて楽しんでいました。絵手紙指導をしているスタッフも感心したり感動したりで、楽しいひと時でした。絵を描いてからそこに言葉を入れる事にちょっと苦労していましたが見事に出来上がりました。若い人達の感覚って素晴らしいな！！

